庄内空港国際線施設整備計画概要

1　整備計画の概要

庄内空港ビルでは、国内線と国際線の動線が分離されておらず、庄内⇔羽田便５便化の時期等を中心に国際チャーター便の受入を円滑にできない状況になっていることから、国際線施設の整備等を行うもの。

2　国際線施設整備計画の概要

項目	内容
①　取扱い便数	年間 50 往復（100 便）に対応
②　旅客数	年間 23,000 人（230 人×100 便）に対応
③　その他	国際チャーター便専用施設を設けることにより内際完全分離が可能

《計画数値》

表１

項目	内容	
① 国際線施設増築	床面積	2,300 ㎡
	構造	鉄骨造
	階数	3F/地下なし
② 国際線増築に伴う既存施設の改修	改修面積	376 ㎡
	上増築面積 ※	36 ㎡
③ 既存貨物ターミナル改修	撤去面積	440 ㎡(庇を含む)
	改修面積	30 ㎡
④ 既存県車庫撤去	撤去面積	180 ㎡
⑤ 新貨物ターミナル新築	新築面積	433 ㎡
	階数	2F/地下なし
⑥ 付属棟移設	撤去面積	43.5 ㎡
	新築面積	96 ㎡

※上増築：２階屋根上部にコンコースを増築

上段記載の計画数値に対して、IATA ADRM（ 国際航空運送協会・空港計画時のリファレンスマニュアル）に基づき必要となる各種旅客取り扱い施設の必要規模を算定する。

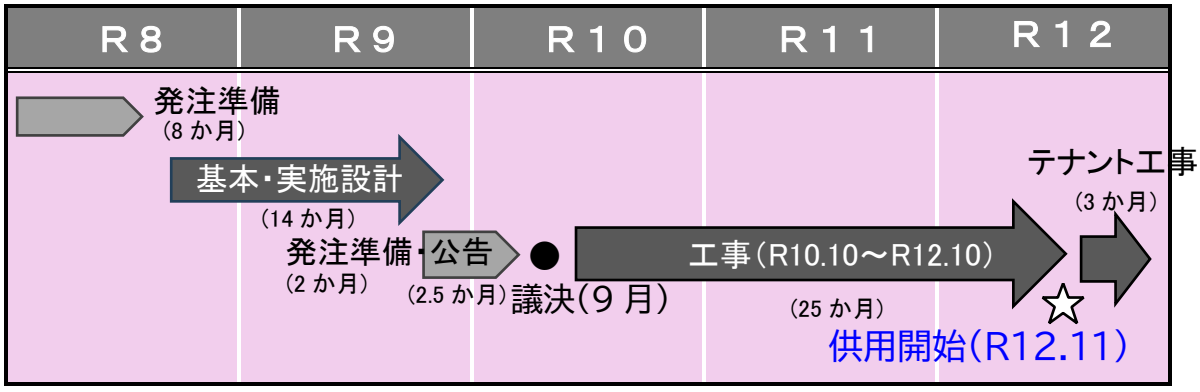
表２

項目		階数	内容
出国検査	チェックインカウンター	2F	5 窓口
	保安検査場	2F	1 レーン
	出国税関	2F	1 窓口
	出国審査場	2F	2 窓口
	搭乗待合室	2F	230 席
入国検査	検疫検査場	1F	2 窓口
	入国審査場	1F	5 窓口
	手荷物受取所	1F	1 コンベア
	税関検査場	1F	4 窓口
共通	PBB	2F	既存設備利用

３　概算事業費

項目		内容
（１）工事費		約 54 億円
	工事費に含む項目	① 国際線施設増築 ② 国際線施設増築に伴う既存施設の改修 ③ 既存貨物ターミナル改修 ④ 既存県車庫撤去 ⑤ 新貨物ターミナル新築 ⑥ 既存付属棟撤去 ⑦ 付属棟新築 国際線施設整備に伴う必要工事の主な内訳 ・特定天井等遡及工事 ・設備工事（出発・到着手荷物搬送設備、CIQ 関連設備検査台、チェックインカウンター） ・保安設備工事（ボディスキャナ、受託手荷物用 X-ray 持込手荷物用 X-ray、爆発物検知装置、門型金属探知機 FIDS）
（２）その他必要経費		
	その他必要経費に含む項目	① 確認申請（中間検査、完了検査、仮使用申請含む） →行政または民間審査機関 ② 構造計算適合性判定 （構造計算が建築基準法に適合しているかどうかを審査する制度） →行政または民間審査機関 ③ 建築物エネルギー消費性能適合性判定 （建築物の新築や増改築の際に、省エネ基準に適合しているかどうかを判定する制度） →行政または民間審査機関 ※上記の他調査費用として測量、地盤調査などが必要であるが基本設計において調査条件を整理した後でなければ、経費の算定は困難であり未計上とする。

４　工期見込み



〈　配置図　〉

全体配置図（２階）

エプロン

N

消防車庫

除雪車庫

敷地境界線

既存貨物
ターミナル改修

国際線施設増築に伴う
施設改修

エプロンショルダー

配管エリア

機材庫屋根

新付属棟
屋根

WC
（バリアフリー対応）

搭乗待合室

EV

WC

授乳室

出国審査場

免税店

チケットカウンター

EPS

出国税関

倉庫

DS

保安検査場

出発ロビー

EV

付属棟新築

新貨物ターミナル新築

給湯室

屋根

WC

男倉庫

CAB庁舎

電源局舎

国際線施設増築

国際線施設増築に伴う
施設改修

既存ビル

新ビル

浄化槽

駐車場

駐　車　場

P O L

敷地境界線

敷地境界線